

# 「絵のぐと水の

# ハーモニー」

絵のぐを水でといて、いろいろな線をかきましょう。ふでにふくませる水の量をかえると、こい色の線やうすい色の線がかけます。水の量や色をかえたり、細い線、太い線、ぐるぐるの線などを組み合わせたりして、かいてみましょう。

じゅんびするもの

- ・ 絵のぐセット
  - ・ 新聞紙
  - ・ 画用紙
- (なければふつうの紙)

やりかた

気をつけること

・ いろいろな線を組み合わせてかいているうちに、なにかに見えてきたら、作品に題名を付けましょう。

・ 図工の教科書 「できたらいいな」の8～9、50～51ページを見てみましょう。

・ 必ず新聞紙をしき、その上でかきましょう。



絵の具



画用紙



水さい用具

# 絵の具と水の ハーモニー

絵の具を水でといて、  
いろいろな点や線で  
かこう。

## 学習のめあて

- 筆の使い方や水のりょうをくふうしよう。**
- 絵の具遊びから、かきたいことを考えよう。
- 絵の具でかくことをたのしもう。



筆の動かし方をくふうしました。

2まい目は画用紙をたてに  
してかいています。

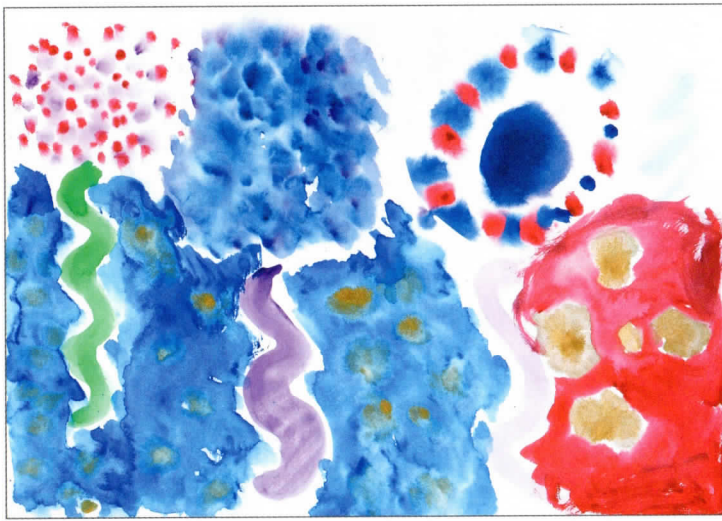


ふしぎな遊園地 (色画用紙/38×54cm)  
「いろいろな線をかいたら、遊園地のようになりました。」



おもしろい島 (31×44cm)  
「水のりょうをへらして、かすれた線もかきました。」

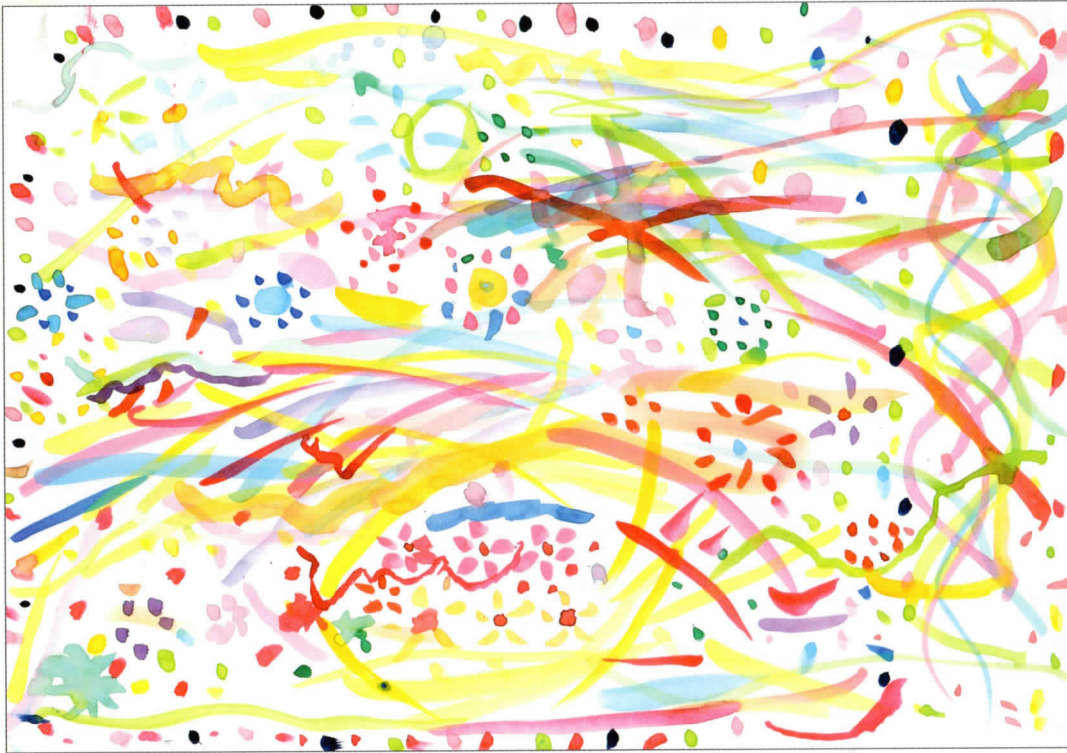




花火 (31×43cm) 「水のりょうを多くしてかきました。」



つぎ次はどこからかこうかな。



春のお花火 (38×54cm) 「てんてんでかいたら、お花火に見えてきた。」



水のりょうをくふうしよう。

● 絵の具と水はなかよし



QR



水のりょうはこのぐらいでいいかな。



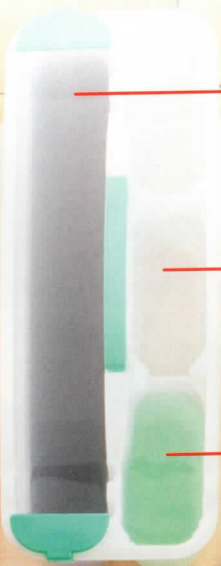


# 絵の具と筆の使い方



## 筆せん(水入れ)の使い方

①→②→③のじゅん番で使う。



①筆を  
あらう  
ところ

③水を  
ふくませる  
ところ

②すぐ  
ところ

筆せんのふちで  
水を切って、  
筆先を整える。



## パレットの使い方

大きいところは、  
絵の具をといたり、  
まぜたりする部屋

まぜる色や、  
まぜるりょうを  
くふうして、  
つくりたい色を  
見つけよう。

小さいところは、  
絵の具を出す部屋。  
いつも同じ部屋に  
同じ色を出そう。



絵の具をまぜる部屋が  
足りなくなったら、  
ふき取って、  
また使おう。



## ●水のりょうをかえて

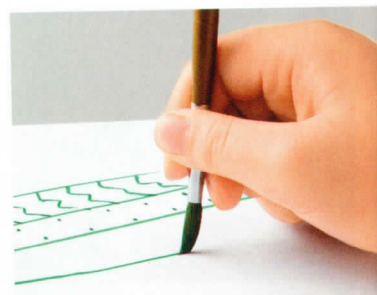
タオルの上で、筆につけた水のりょうをちょうせつする。



## ●筆の持ち方と使い方



太くかくときや、広い面をぬるときは、  
じくの太い部分を持って、ねかせてかく。



細くかくときや、細かいところを  
ぬるときは、筆先を使って、立ててかく。



## 筆による<sup>あらわ</sup>表し方のちがい

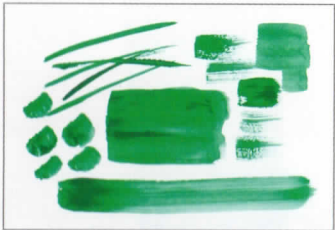
[細い筆で]



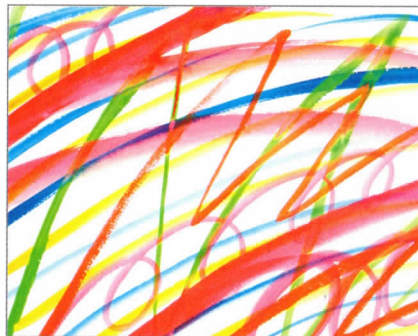
[丸筆で]



<sup>ひら</sup>  
[平筆で]



## つか<sup>づか</sup>筆使いのくふう



線で表すときは、線の太さ、こさ、いきおいなどをくふうする。



点を<sup>う</sup>打つように、筆を<sup>うご</sup>動かしてかく。

### ↓かたづけ



絵の具チューブの先をふいてから、ふたをする。



<sup>ね</sup>根元から、やさしく、水でよくあらう。



水分をふき取り、筆先を整える。

Let's try!  
ためして  
みよう

水のりょうをくふうして、いろいろな線や点をかいてみよう。

